

早期景気観測調査

【8-9 月期 調査結果概要報告書】

平成30年10月



甲府商工会議所

◆調査要領

1. 調査の目的： 山梨県内で最も速報性の高い『街角の景況感』を把握する調査として中小企業の明日の経営活動に資する。
2. 調査実施機関： 甲府商工会議所
3. 調査実施時期： 平成30年9月14日(金)～28日(金)
4. 調査対象： 当所会員136事業所
5. 調査方法： ファクシミリによるアンケート方式
6. 有効回答数： 96件
7. 有効回答率： 70.6%
8. 特記事項： 原則、小数点以下第二位で四捨五入

◆結果概要

【8－9月期の動き】

**全体業況は2期連続で改善も、業種ごとにバラつきがみられる。
向こう3カ月の業況は、改善の見通し。**

8－9月期の全業種総合の業況DIは、▲17.0（前期比＋1.5ポイント）と2期連続の改善となった。売上DI、採算DI、仕入単価DI、金融貸出しDIのいずれも悪化に転じ、従業員DIについても4期ぶりに悪化に転じたが、従業員不足には一服感がみられる。

向こう3カ月の先行き業況は、改善する見通し。

業種別では、建設業、卸売業で改善し、製造業、小売業、サービス業で悪化した。

製造業の業況DIは▲20.0（前期比▲8.9ポイント）と4期連続の悪化となった。売上DI、採算DIが悪化に転じ、とりわけ売上DIが20.0ポイントの大幅なマイナスとなった。仕入単価DIは2期連続、従業員DIは3期連続で悪化となったが、人手不足感は緩和が続いている。唯一、金融貸出しDIのみ4期ぶりに改善に転じている。

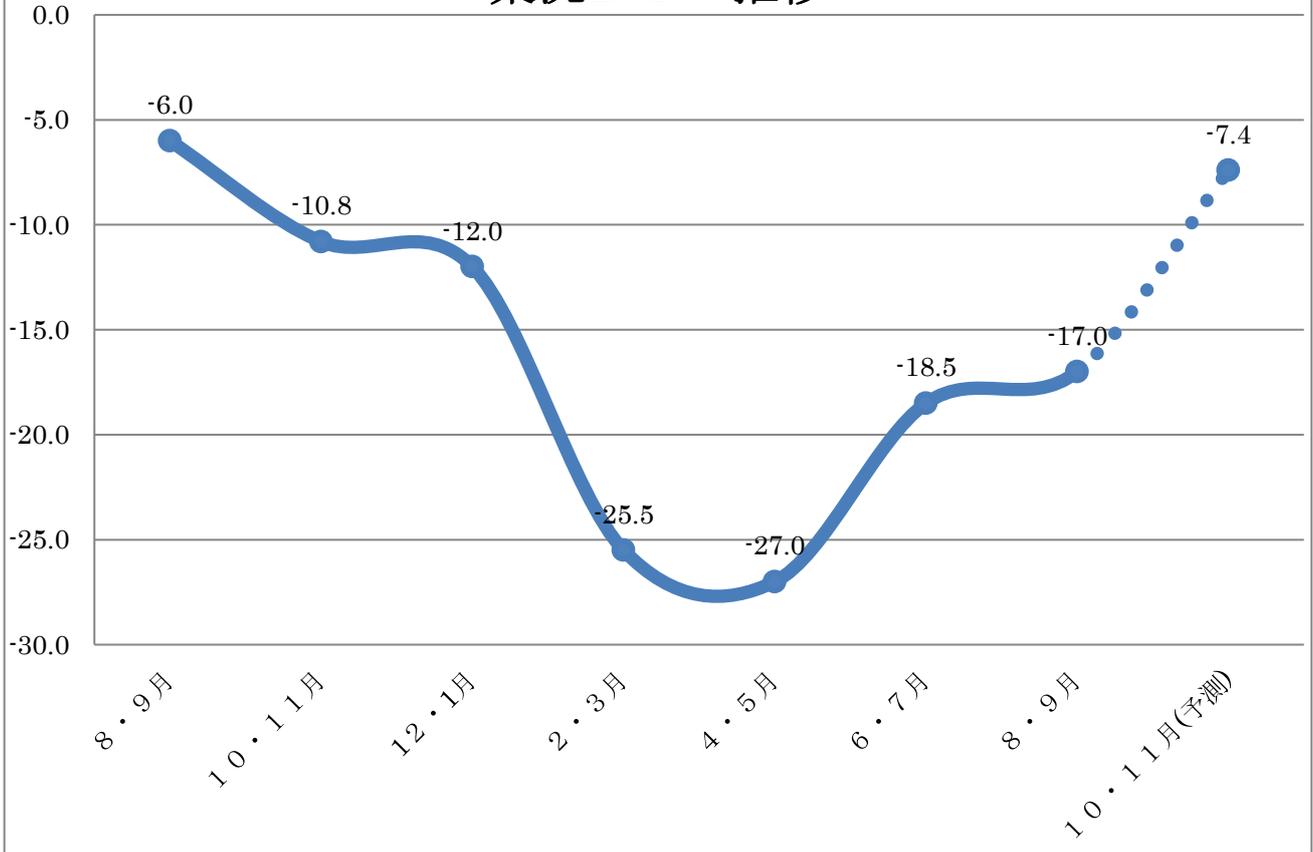
建設業の業況DIは▲17.6（前期比＋9.1ポイント）と3期連続の改善となった。売上DI、採算DIが改善に転じ、とりわけ売上DIは46.7ポイントの大幅なプラスとなった。一方で、仕入単価DIは悪化に転じ、従業員DIについても4期ぶりに悪化に転じた。金融貸出しDIについては、2期連続で改善している。

卸売業の業況DIは15.0（前期比＋26.1ポイント）と2期連続の大幅な改善となった。売上DI、採算DIが2期連続で改善し、とりわけ採算DIは27.8ポイントの大幅なプラスとなった。一方で、仕入単価DIが2期連続で悪化し、従業員DI、金融貸出しDIはともに悪化に転じた。

小売業の業況DIは、▲31.8（前期比▲5.7ポイント）と2期連続の悪化となった。売上DIが4期ぶりに悪化に転じ、33.0ポイントの大幅なマイナス。また、採算DIも2期連続で悪化し、23.9ポイントの大幅なマイナスとなっている。従業員DI、金融貸出しDIについてもともに悪化に転じ、唯一仕入単価DIのみ改善に転じている。

サービス業の業況DIは▲33.3（前期比▲16.6ポイント）と3期ぶりに悪化に転じた。売上DI、採算DIがともに3期ぶりに悪化に転じた。また従業員DIは5期ぶりに悪化に転じ、人手不足に一服感。仕入単価DIについても悪化に転じている。唯一金融貸出しDIのみ横ばいとなっている。

業況D I の推移



◆全業種・業種別詳細

※ D I 値（景況判断指数）について

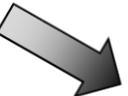
D I 値は、売上・採算・業況などの各項目についての、判断の状況を表す。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりを意味する。

◆指標の見方

前回D I に比べて（先行は今回実績値に比べて）		
改善	不変	悪化
		
D I 値	D I 値	D I 値

※仕入単価D I は、仕入単価が下落した場合、「↗」（改善）と表示しております。
従業員D I は、従業員が不足している場合、「↗」（改善）と表示しております。

◆全業種総合

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲17.0	▲7.4	▲20.2	▲24.5	▲43.6	18.1	▲2.1

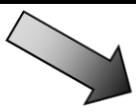
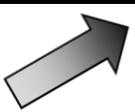
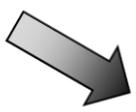
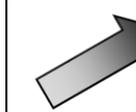
8-9月期の全業種総合の業況D I は、▲17.0（前期比+1.5ポイント）と2期連続の改善となった。

項目別では、全項目で悪化となった。売上D I（▲17.4→▲20.2）、採算D I（▲21.7→▲24.5）、仕入単価D I（▲39.1→▲43.6）、金融貸出しD I（▲1.1→▲2.1）のいずれも悪化に転じ、従業員D I（28.3→18.1）についても4期ぶりに悪化に転じたが、従業員不足には一服感がみられる。

向こう3か月の先行き業況は、▲7.4と改善する見通し。業況D I は、▲31.8（前期比▲5.7ポイント）と2期連続の悪化となった。

◆ 業種別

製造業

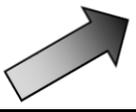
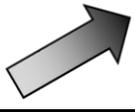
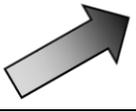
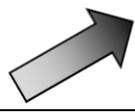
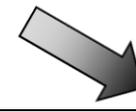
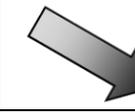
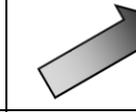
業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲20.0	0.0	▲20.0	▲15.0	▲15.0	▲5.0	▲10.0

業況DIは▲20.0（前期比▲8.9ポイント）と4期連続の悪化となった。

項目別では、売上DI（0.0→▲20.0）、採算DI（0.0→▲15.0）が悪化に転じ、とりわけ売上DIが20.0ポイントの大幅なマイナスとなった。仕入単価DI（▲11.1→▲15.0）は2期連続、従業員DI（16.7→▲5.0）は3期連続で悪化となったが、人手不足感は緩和が続いている。唯一、金融貸出しDI（▲11.1→▲10.0）のみ4期ぶりに改善に転じている。

向こう3か月の業況は、0.0と大幅に改善する見通し。

建設業

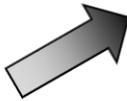
業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲17.6	0.0	0.0	▲17.6	▲58.8	35.3	5.9

業況DIは▲17.6（前期比+9.1ポイント）と3期連続の改善となった。

項目別では、売上DI（▲46.7→0.0）、採算DI（▲26.7→▲17.6）が改善に転じ、とりわけ売上DIは46.7ポイントの大幅なプラスとなった。一方で、仕入単価DI（▲53.3→▲58.8）は悪化に転じ、従業員DI（40.0→35.3）についても4期ぶりに悪化に転じた。金融貸出しDI（0.0→5.9）については、2期連続で改善している。

向こう3か月の業況は、0.0と改善する見通し。

卸売業

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
15.0	▲20.0	10.0	0.0	▲60.0	30.0	0.0

業況D Iは15.0（前期比+26.1ポイント）と2期連続の大幅な改善となった。

項目別では、売上D I（0.0→10.0）、採算D I（▲27.8→0.0）が2期連続で改善し、とりわけ採算D Iは27.8ポイントの大幅なプラスとなった。一方で、仕入単価D I（▲50.0→▲60.0）が2期連続で悪化し、従業員D I（38.9→30.0）、金融貸出しD I（11.1→0.0）はともに悪化に転じた。

向こう3か月の業況は、▲20.0と大幅に悪化する見通し。

小売業

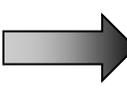
業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲31.8	▲9.1	▲59.1	▲50.0	▲31.8	13.6	▲4.5

業況D Iは、▲31.8（前期比▲5.7ポイント）と2期連続の悪化となった。

項目別では、売上D I（▲26.1→▲59.1）が4期ぶりに悪化に転じ、33.0ポイントの大幅なマイナス。また、採算D I（▲26.1→▲50.0）も2期連続で悪化し、23.9ポイントの大幅なマイナスとなっている。従業員D I（21.7→13.6）、金融貸出しD I（▲4.3→▲4.5）についてもともに悪化に転じ、唯一仕入単価D I（▲34.8→▲31.8）のみ改善に転じている。

向こう3か月の業況は、▲9.1と大幅に改善する見通し。

サービス業

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲33.3	▲6.7	▲26.7	▲40.0	▲60.0	20.0	0.0

業況DIは▲33.3（前期比▲16.6ポイント）と3期ぶりに悪化に転じた。

項目別では、売上DI（▲16.7→▲26.7）、採算DI（▲27.8→▲40.0）がともに3期ぶりに悪化に転じた。また従業員DI（27.8→20.0）は5期ぶりに悪化に転じ、人手不足に一服感。仕入単価DI（▲50.0→▲60.0）についても悪化に転じている。唯一金融貸出しDI（0.0）のみ横ばいとなっている。

向こう3か月の業況は、▲6.7と大幅に改善する見通し。

◆ 業種別詳細

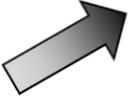
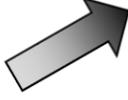
製造業（食品）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

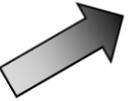
製造業（工業製品）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

製造業（宝飾）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

製造業（繊維）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

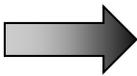
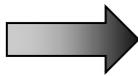
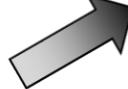
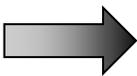
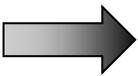
建設業（建築）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

建設業（土木）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

建設業（鉄鋼）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

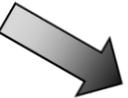
卸売業（食品）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

卸売業（繊維）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

卸売業（その他）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

小売業（大型店）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

小売業（食料品）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

小売業（事務用品）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し

小売業（趣味・日用品）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し

小売業（家電）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し

サービス（ホテル・旅館）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し

サービス業（観光）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し

サービス業（飲食その他）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し

➤ 中小企業の声（現状や直面している課題）

【製造業】

製造業（食品）

- ・もち麦の好調に加え、夏の猛暑の影響により麦茶の出荷が昨年よりも増えている。

製造業（工業製品）

- ・米国 vs 中国の貿易戦争で、中国で製品を製造している会社の受注減が日本に大きな影響を与えるのでは。
- ・8月水晶業界統計実績は、自動車用の受注はやや減少、生産は横ばい、携帯電話向けは増加しています。

製造業（宝飾）

- ・例年これから繁忙期になってくるんですが、受注がまだ少ない。
- ・ユーザー層では少し動きが出ては来ているものの、通常の卸（ルート販売）が低迷。

【卸売業】

卸売業（食品）

- ・9/4の台風でみかん産地の和歌山が甚大な被害を受け、9/6の北海道胆振地震では輸送手段が寸断され、土物（馬鈴薯、玉葱、人参）を中心に入荷が激減しています。
- ・向こう3カ月は、好転の予定で動いております。大きな事由というより営業努力をしているというところで好転としております。
- ・魚価の全体的な高止まり、魚離れの加速。
- ・輸入養殖魚、国内養殖魚の値上げ（生産量の減少、海外需要）が仕入単価上昇につながっています。

【建設業】

建設業（建築）

- ・来年の消費税増税の関連で、工事の増加が予想されます。

建設業（土木）

- ・コストアップ要因は、人件費に関わるものが多くなる。時間外労働のカウント、求人のための水準アップ、福利厚生費のアップなどが一般的だが、建設業は現場における週休2日制を公共事業発注者から強いられるため、元請技術者、下請技術者、技能者も人件費コストアップとなる見通し。

建設業（鉄鋼）

- ・輸入原料（鉄鉱石・石炭）値上がり、円安につき、鋼材単価上昇傾向。

【小売業】

小売業（食料品）

- ・ブライダルギフトのメーカーとしての比率が上がっていましたので、ブライダルの落ち込みの影響が出ています。

小売業（趣味・日用品）

- ・天候不順もあるだろうが街中に人影が少なく、なんとも暗い感じ。小売店としては来店客に精いっぱいサービスをすることに努めています。
- ・猛暑・豪雨の影響か、今夏は非常に厳しい状況でした。また、通行量の減少など問題も山積みです。

小売業（家電）

- ・補聴器の小売りを行っています。前年期が好調だったため、数値的には悪い状況ですが、黒字ベースで当面は推移しそうです。8月中旬以降はメーカー出荷と購買店売上は全国的に低かった様子です。

【サービス業】

サービス業（ホテル・旅館）

- ・大規模災害の影響で予約が入らなくなった（9/6～9/12）。今は平常に戻っている。

サービス業（観光）

- ・週末の天候に恵まれ売上は前年並みになりました。団体客の動きは良くないようです。
- ・売上高の向こう3カ月の見通し「減少」は、賃貸不動産の施設改修による休業によるものです。仕入単価は、引き続き原油の値上がりによる軽油価格の値上がりが懸念材料です。
- ・働き方改革推進中。

サービス業（飲食その他）

- ・厳しかった猛暑がようやく過ぎ、秋らしくなってきました。鰻の時節からサンマ・サバがおいしく脂がのってきました。いい仕事をするには忙しすぎてはできません。ストレスや身体の疲れをとる必要がありますね。難しいことですが、心も身体も良い状態で仕事に臨みたいですね。
- ・かすがも～るの工事による影響と人手不足による回転不足による悪化です。
- ・甲府中心街に出店が数多く見られ、少しずつではあるが活況傾向にある。夏の天候不順により、野菜、魚介類等が軒並み値上がりした。
- ・夏の猛暑により外出が控えられ、そのまま暑さが和らいても習慣になってしまったのか、町中に出てくる人がめっきり減ってしまった。

以上